

動き出す、あなたの想いをお結びする市民活動情報誌

おむすび たかしま



41

2018
AUTUMN

たかしま市民活動フェスタ参加団体交流会
「つながりカフェ」開催しました！



市民活動団体が沢山出展するイベントでは、来場者に向けて活動を紹介するのに忙しくてなかなか他の団体と話したり、交流する時間をとれません。参加団体同士が出会い、つながるきっかけづくりをしているのがフェスタ参加団体交流会「つながりカフェ」です。たかしま市民活動フェスタ 2018 では、6月13日につながりカフェを開催しました。

つながりカフェでは、団体同士が活動の内容や活動への想いを聞き合い、お互いについてよく知る時間を持ち、フェスタ当日の企画を一緒に考えながら交流するなど、より深いつながりを作ることを目的にしています。お互いの活動や特技を知りあうことで、フェス

タ当日のコラボ企画が実現したり、フェスタ終了後に団体同士が協力してイベントを実施したりと、様々なつながりが生まれています。

6月13日は「今日も元気！高島いいところ発見 MAP をつくろう！」と題し、高島市のいいところやいい活動を高島市の地図上に出し合い、高島市の「いいところ」を再発見しました。お互いの良い活動を知り合う交流の場になりました。このMAPはフェスタ当日に飾る予定になっています。次回開催のつながりカフェからは、フェスタ当日に向けて各団体のオリジナルスタンプづくりと、団体の魅力を再発見できるクイズづくりに取り組んでいます。

自身の団体の魅力を再発見したい方、様々な市民活動に興味がある方は、11月10日（土）、様々な団体が力を合わせてつくる「たかしま市民活動フェスタ 2018」にぜひお越しください。



『400年の伝統』

『次世代へつなぐバトン』

平成27年1月に、大溝の水辺景観が文化庁から重要文化的景観に選定されたのをきっかけに設立された大溝の水辺景観まちづくり協議会。地域の価値や魅力を発信したり、見学者の受け入れなどの活動をされています。

古くから大溝は港を中心に発展し、大溝城跡やまちわり水路など歴史的な景観が今も多く残っています。こうした伝統的な地域ですが、会長の今西さんは「大溝は地元の人と町外からの人が一緒になって盛り上がり上げてきた地域や。これからも、若い人や町外からの人の力で大溝を盛り上げてほしい」と話されます。事務局の上田さんも5年前に町外から移住してきた一人です。二人は、「長い歴史の中で、新しい風も取り入れながら景観や文化が継承されてきたように、次世代にもバトンをつないでいきたい。」と話されました。

実は来年は、現在の大溝のまちの形をつくった分（わけ）部家が大溝藩主として入封（にゅうふう）してきて、ちょうど400年目の節目の年。これからも、『規模は小さくとも、他所（よそ）から人が訪れたいくなるような魅力的なまち』を目指して、まちあるきを中心とした小型観光や、空き家を活用した小商いの誘致などの活動を積み重ねていきたいと話されました。



大溝まち歩きツアーの様子

大溝の水辺景観まちづくり協議会

代表 今西 仁
設立 平成27年4月
会員数 21名
連絡先 高島市勝野1688
TEL 0740-36-2011
FAX 0740-20-2012

いたしま やってます

このコーナーでは、高島市で活躍する市民活動団体を紹介しています。

『生涯一緒にいられる』

仲間づくりをしたい』

仲間のWA!では毎月第1木曜と第3土曜日に集まってメンバーで語り合い、バーベキューやお弁当作りなど、「やりたいけど1人じゃできない」をみんなでやっています。代表の是永さんが前職で、様々な事情で居場所を失い、ひきこもっていく若者を見ていく中で、若者の居場所づくりをしたいと思った事が活動のきっかけでした。

仲間のWA!では、仲間と共有する時間を通して「ありのままの自分で良いのだ」という安心感と、「やったことが無いことにチャレンジする勇氣」を育くむことを大切にしています。メンバーの皆さんに活動の良さを聞いてみると、「自分が失くしたビーチボールを次の日にメンバーが探して出してくれて絆を感じた」「みんなで味噌作りをした時、自分の居場所だと思えた」「色々な人たちと田植えをした時、仲間と一緒に頑張れる楽しさを知ることができた」と、思い思いに話してくださいました。

課題としては、活動日に変更が多いことや、車に乗れない人に来てもらうことが難しく、なかなかメンバーが増えないことなどがありますが、今後は集まる回数や時間を増やしたり、地域活動などで他団体とも交流してみたいと話されました。



メンバーでやりたいことを話し合っている様子

仲間のWA!

代表 是永 宙
設立 平成28年6月
会員数 10名
連絡先 高島市今津町椋川
TEL 090-3864-4077

高島の元気企業

暮らしに高島の木をもっと使ってほしい。

開かれた製材所をめざして

このコーナーでは、地域に根差した活動や社会貢献活動をしている高島市の企業を紹介しています。

岡本木材株式会社

専務 岡本顕典さん

「一般の方って、製材所をご存知ですか？」取材では、そんな質問を投げかけてこられた岡本木材の3代目、岡本顕典さん。目下の関心事は、一般の消費者にどうしたら高島の木材を使ってもらえるかということだそうです。家を建てるなら地元の大工さんという時代には、高島の木材が使われていましたが、今は多くの住宅がハウスメーカーの資材で建てられるようになりました。高島の木の家づくりネットワークにも参加し、地元の木材を使ってほしいと活動しておられます。

大学卒業後、家業に入って15年目。製材業は職人仕事であり、とにかく見て体で覚える日々だったそうです。木が山から伐り出され、ここまで来る一連の流れを知りたいと、3年前に林業に関する講座を受講。工場見学や木の皮はぎ体験なども実施し、関心のある方とのつながりができました。高島の木をどこで買えるのか？少しでも売ってもらえるのか？そんな声を聞くようになり、月1回の木材市や木工ワークショップ、山へ木を見に行くツアーの実施、新しい木工品の開発と販売などにチャレンジしたいと考えています。めざすは「開かれた製材所」だそうです。

製材所で木材を買う魅力や価値とは何かと考えると「どこの山で育った木なのかを聞ける。木の種類による特徴を話してもらえ。高島の木材を使うことで高島の山の保全につながる」ということ。乾燥して黒くなった木材の表面を削ると表われるきれいな木肌に今も感動するという岡本さんのお話に、製材所を身近に感じることができました。



岡本木材株式会社

〒520-1233 滋賀県高島市安曇川町南船木 913-1

TEL: 0740-34-0068

FAX: 0740-34-0578

たかしま市民協働交流センターでは市民活動に関する、さまざまな相談をお受けしています。ここでは、お寄せいただいた質問や相談とその回答についてご紹介しています。



広域避難所の運営体験について

Q. 自治会では毎年防災訓練をしています、大きな災害が起きた場合を想定し、広域避難所での運営体験してみたいのですが。

A. 私たちが指定管理で運営している今津東コミセンは、地震や水害が起きた場合の広域避難所になりますので、毎年、避難される近隣の区・自治会と避難所運営体験をしています。各区長さんと一緒に体験の内容を考え、各区の役員の方々と実施しています。

多くの広域避難所でも、複数の区・自治会が一緒に避難することになりますので、一緒に運営体験されることをお勧めします。各区・自治会の方との連絡、避難所となる公共施設との打合せ、運営体験の内容についてのご提案など、お気軽にご相談ください。

今年の今津東コミセンでの避難所運営体験は防災課から高島市の災害や防災備品について説明していただき、各区・自治会からは防災訓練の内容や準備されている防災備品について報告していただきました。その後、建物の図面を使って運営体験を実施したので、より具体的に考えていただく機会になりました。今年で4年目になりますが、広域避難所に避難する区・自治会の住民同士で、顔を合わせる機会を作っていくことが災害に備えることにもつながります。

たかしま市民協働交流センターでは、高島市災害ボランティア活動連絡協議会や市防災課と連携し、広域避難所の運営訓練についてサポートしています。お気軽にご相談ください。

◎市民活動についての疑問、相談などお寄せください！

INFORMATION

たかしま市民協働交流センター協議会 これから検討会のご案内

当協議会では市民活動団体への支援やネットワークづくり、市民と市民活動団体との出会いの場づくりを通して、高島市の暮らしを豊かで魅力あるものにしたいと活動しています。設立10年を迎え、次の10年を見据えてどのような目標で活動を進めていくのか、みなさんと検討する機会を持ちたいと思っています。ぜひご参加ください。

日時：10月22日（月）19:30～21:30

場所：今津東コミュニティセンター 会議室3

◎お問合わせは、たかしま市民協働交流センターまで

新スタッフ紹介

◆たかしま市民協働交流センター 事務職員 長澤 由香里



9月よりお世話になります、長澤由香里と申します。高島には仕事などを通じて縁があり、様々なかたと出会うなかで市民活動や協働に関心を持つようになりました。高島の皆さんに習いそして学び、きっかけづくりや間口を広げる、少しでもそのようなお力になれるよう努めたいと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

◆たかしま市民協働交流センター 生活支援コーディネーター 吉見 恵理子



10月からお世話になります、新旭在住の吉見恵理子です。ビデオ編集の仕事をしていて、市内のあちこちに取材に出かけていました。取材先では色々な人と話す機会があり、地域の問題、課題などを知る事ができました。これまでしてきた事を活かせる、またまちづくりに関われる事とても嬉しく思っています。

今津東コミセンからのお知らせ

【1階ホール展示会】

- 10月20日～10月31日 第14回 彩友水彩画展
- 11月12日～11月17日 レイカディア大学同窓会 高島支部 作品展
- 11月18日～11月25日 MOA美術館高島児童作品展
- 11月27日～12月3日 アンフィニ 生け花展
- 12月15日～12月18日 高島高校茶華道部 生け花展
(10月～12月までの展示予定を掲載しています)

上記以外にも常設展示、短期の展示会などもあります。ご来場お待ちしております。

お問合わせ先：今津東コミュニティセンター

TEL：0740-22-3222 / FAX：0740-20-5757

退職の挨拶

◆たかしま市民協働交流センター 事務職員 三上 和之

約2年間、当センターにて働かせていただきました。皆様がイキイキと市民活動をされながら、まちづくりをされているお手伝いをさせていただけるのが何よりの嬉しさでした。これからも、同じ高島市民として皆様とまちづくりができればと思います。今までお世話になり、本当にありがとうございました！

◆たかしま市民協働交流センター 生活支援コーディネーター 和田 彩

こんにちは。前回の通信でご挨拶をしたばかりなのですが、この度出産することになり育児に専念するため退職する運びとなりました。約6ヵ月という短い期間でしたが、皆さんに温かく迎えていただき、とても有意義な時間を過ごすことができ嬉しく思っています。本当にありがとうございました。

発行・お問合せ：たかしま市民協働交流センター

〒520-1622 滋賀県高島市今津町中沼1-4-1（今津東コミュニティセンター内）

業務時間 月～金曜日（祝日を除く）9～17時 ☆Facebook&twitter もやっています☆

TEL 0740-20-5758 / FAX 0740-20-5757 / E-mail webmaster@tkkc.takashima-shiga.jp

ホームページ



ブログ



編集後記

秋になりました。秋は天候も安定していて適度に涼しいため、外に出るにはとてもいい季節です。僕が初めて市民活動でイベントに出たときも、秋の涼しい季節でした。駐車場係に受付に、言われるがままで中身は覚えていませんが（苦笑）、世代が違う沢山の友人ができたことは今でも覚えています。皆さんもぜひお出かけください。（M）

広告欄

※広告（横10cm×縦4.5cm）を募集しています。お問い合わせは右記までお願いします。

パートタイマーでご勤務できる方募集しています！
お気軽にご連絡下さい♪

有) グリーン藤栄

〒520-1234

滋賀県高島市安曇川町四津川614番地

電話 0740-34-1001 FAX 0740-34-0098

HP g-toei.com MAIL g-toei@maia.eonet.ne.jp

内容
加工食品製造
商品出荷業務
時給・830円
(試用期間3ヵ月)
試用期間後930円
昇給有り

9:00～17:30の間



学校法人
恵の園

今津幼稚園

来年4月、保
育環境と内容をリニュー
ーアルして再開します！
金曜日には子育て支援ひろば
を開いています。園内見学は土
・日・祝日以外で事前にご
連絡ください。

Tel: 0740-22-2214